丸子地域自治センター

令和7年度　重点目標

1　　農業振興による地域活性化の推進

2　　地域に根ざしたまちづくりの推進

3　　地域の観光振興及び産業活性化の推進

4　　人と環境に優しい地域づくりの推進

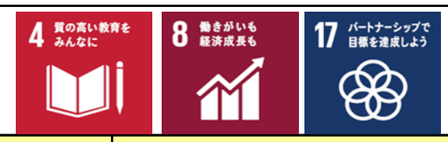
令和7年度　**重点目標管理シート**

重点目標	農業振興による地域活性化の推進	部局名	丸子地域自治センター	優先順位	１位
総合計画における位置付け	第3編　誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第1章　次世代へつなぐ農林水産業の振興 第2節　農林業の安定的な生産体制の整備と産地化の促進	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	日本を代表する循環型社会をつくる DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革　(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革　ウ市有財産の適切な管理と利活用 (3) 時代に即した行政運営への改革　イ人材の確保・育成と職員の意識改革				
現況・課題	平井寺トンネルや三才山トンネルが無料化され交通量が増大している国道254号沿線は、道路利用者の休息機能や情報発信機能及び有事での待避所（防災等の拠点）の設置と、それに合わせて、上田地域の特産物（農産物やお土産）を効率的に販売・PRする場の整備が求められています。 陣場台地周辺は、有機物リサイクル施設建設が計画されており、これに併せて周辺地域の観光振興及び環境に配慮した施設整備が求められています。 上田市初のワイナリーとなる「椀子ワイナリー」は、地域の新たな魅力や経済的な効果を生み出し、また、キリングループとのワイン産業振興を軸にした地域活性化に関する包括連携協定に基づき、ワイン産業の活性化やワイン文化の醸成を通じて、地域産業や観光振興の発展が期待されています。 優良農地である上長瀬・下丸子地区は農業基盤が未整備であり、作業性の悪さや農業従事者の高齢化などにより、年々耕作放棄地が増加する一方となっています。また、中山間地区においては、農業基盤の老朽化への対応が求められています。				
目的・効果	道の駅整備に係る直売所等の振興施設設置により、地域産業の活性化を図ります。 陣場台地周辺は景観に配慮した畜産振興、遊歩道等の整備に係る検討を進め、地域の新たな魅力づくりに繋げます。 椀子ワイナリーほか、地域のワイン産業を中心として地域農業及び経済の活性化を図ります。 上長瀬・下丸子地区の農業基盤整備による農地集約化を促進すると共に、中山間地域における遊休農地の発生防止・解消を目指します。	該当するSDGsの目標			

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	【道の駅整備による地域活性化】 (1) 事業計画精査による基本計画策定の推進	(1)4月～3月	(1) ３月までに基本計画を決定		
②	【陣場台地周辺整備】 (1) 有機物リサイクル施設建設に向けての協働 (2) 地域振興事業の推進	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1) 調整会議等への参画 (2) 陣場台地土地利用検討会による整備事業実施（１件以上）		
③	【ワイン振興の推進】 (1) 椀子ヴィンヤード・椀子ワイナリーと地域との共生推進 (2) 地域内ワイン産業の振興 (3) キリングループとの包括連携協定に基づく官民連携	(1)2月まで 4月～10月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1) ワインイベントの開催（延べ参加者700人以上） ワイン用ぶどう農作業体験の開催（延べ参加者300人以上） (2) 地域内ワイン生産者等との連携によるイベント開催（延べ参加9社以上） (3) メルシャン㈱との人材交流職員による地域活性化事業の推進（1件以上）		
④	【地域特性を活かした農業振興】 (1) あさつゆとの協働による地産地消の推進 (2) 上長瀬・下丸子地区未整備農地の営農計画の検討 (3) 担い手への農地の集積・集約化 (4) 新規参入農業者への促進支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月 4月～3月	(1) 地産地消PRイベントの開催（延べ参加者300人以上） (2) 農地利用会議での検討推進 (3) 農地流動化促進（15ha以上） (4) 認定新規就農者等の支援（2人以上） 地域おこし協力隊起業支援と新規隊員の採用		

特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点	○取組による効果・残された課題
	上長瀬・下丸子地区の地権者代表等の市民参加による遊休荒廃地の解消に向けた営農計画の検討推進 丸子まちづくり会議との協働による陣場台地整備計画の策定推進	

令和7年度　**重点目標管理シート**

重点目標	地域に根ざしたまちづくりの推進	部局名	丸子地域自治センター	優先順位	２位
総合計画における位置付け	第１編　市民が主役のまちづくり 第１章　自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現 第１節　参加と協働による自治の推進	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革　　イ　多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり　　エ　広域連携の推進				
現況・課題	地域内分権による地域の自治のさらなる推進を目指し、「丸子まちづくり会議」や地区会議と連携・協働による事業の取組が求められています。 丸子地域の特色ある地域づくりについては、木曽義仲継承活動や公共施設再配置構想等に関する研究・検討が課題となっています。 上田市商工会・丸子修学館高校とのパートナーシップ協定による連携事業については、連携の深化が課題となっています。 西内・平井地区を中心とする公共施設の廃止や老朽化に伴う利活用については、幅広い意見や要望を聞き、公民連携事業含めた検討を進めています。 建築後４６年経過した丸子地域自治センターの老朽化した設備改修も課題となっています。				
目的・効果	丸子まちづくり会議と行政が協働した事業に取組むことにより、地域課題の解決や地域活性化につなげます。 西内・平井地区の公共施設利活用については、地域意見の傾聴・集約を進め、計画等にまとめることで地域活性化へつなげます。 自治センターの老朽化した設備改修を進めることにより来庁者や地域住民に安心感と快適性を実感いただく共に、地域防災の拠点施設として災害対応の機能・効果を発揮することができます。	該当するSDGsの目標			

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	【地域課題解決に向けた取組】 (1) 丸子地域公共施設の在り方検討（西内小、コミュニティセンター西内など） (2) 地域防災力向上の取組 (3) 丸子修学館高校と上田市商工会とのパートナーシップ協定に基づく取組	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1) 西内小周辺利活用検討推進 丸子地域公共施設の在り方及び公民連携の研究推進 (2) 上田市防災訓練の実施（8月） 自主防災リーダー研修会の実施（2月） (3) 協定に基づく事業実施(3事業)		
②	【参加と協働による住民自治の推進】 (1) 住民自治組織への支援・協力・連携 (2) 依田川リバーフロント事業の推進	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1) 活動に対する人的支援、事業協力 会議へ出席し地域課題などの情報共有 (2) 広場を周知し活用イベントを開催		
③	【丸子地域自治センター整備】 (1) 自治センターの設備改修工事の取組 (2) 自治センターの北棟解体の取組	(1)4月～9月 (2)4月～3月	(1) 設備改修工事の完了 (2) 北棟解体実施設計の完了		
④					
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和7年度　**重点目標管理シート**

重点目標	地域の観光振興及び産業活性化の推進	部局名	丸子地域自治センター	優先順位	３位

総合計画における位置付け	第３編　誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第２章　新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第１節　新しい産業の創出と中小企業者の経営力強化 第２節　地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興 第３節　賑わいと活力ある商業の振興 第３章　魅力ある観光地づくり 第１節　おもてなしで迎える観光の振興	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革　　イ　多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
現況・課題	鹿教湯温泉・大塩温泉・霊泉寺温泉からなる丸子温泉郷は、かつては国民保養温泉地として豊かな自然や医療機関との連携などの地域特性を活かし、多くの宿泊客で賑わいましたが、温泉保養事業の終了など、時代の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の減少が続いています。また、老舗旅館の廃業など、地域を支えるマンパワーも不足しつつあります。空き店舗・空き家も増え、事業承継も必要とされています。 昨年度条例廃止し閉館した鹿月荘・クアハウスについては、今後の利活用と併せて、鹿教湯温泉全体の魅力向上を図る事業を検討していく必要があります。こうした状況の中、丸子温泉郷では若い世代の旅館経営者などの複数のグループによる「地域の活性化」という共通目的の実現に向けた様々な活動が継続されています。 商工業においては、地域内の人口減少、後継者不足の他、全国的な物価高・原材料高など経営環境が悪化する中、新たな販路開拓や地域の賑わいの創出が課題となっています。 また、農業生産基盤整備未整備地区である上長瀬・下丸子地区は、新たな産業団地としての整備が求められています。		
目的・効果	丸子温泉郷は「健康の湯」「回復力の湯」として、国民保養温泉地指定の健全な保養地というイメージを大切にしながら、現代のライフスタイルに合った滞在型観光の魅力をＰＲし、地域おこし協力隊の活動も加え、来客数増加を目指します。 産業全般においては、行政、上田市商工会、地域住民、地元事業者が一体となり振興を図ります。 また、農業生産基盤整備未整備地区においては、地域未来投資促進法による重点促進区域に指定して、産業団地として整備を推進します。	該当するSDGsの目標	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	【観光施設の再活用に向けた取組等】 (1) 鹿月荘・クアハウスに係る今後の方針検討 (2) 鹿教湯温泉全体の魅力向上に係る計画の検討 (3) 丸子物産館の運営支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 方針決定に向けた協議等の実施 (2) 計画策定に向けた協議の実施 (3) 信州国際音楽村周辺に係る情報発信等による誘客推進		
②	【観光地域の魅力向上の取組】 (1) 丸子温泉郷への誘客に向けた取組推進 (2) 地域内観光資源の連携推進 (3) 遊休不動産の利活用	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 観光協会と連携した事業の企画運営 (2) 専用タブレット等を利用した情報発信：週1回配信 (3) 遊休不動産の現況調査・把握		
③	【地域の伝統を活かした賑わいの創出】 (1) 夏祭り開催と花市への支援 (2) 木曽義仲挙兵の地のブランド化	(1) 8月 (2) 4月～3月	(1) 目標来場者数7,000人 (2) 木曽義仲伝承事業の実施 R8武者行列に向けた機運醸成		
④	【産業団地整備による産業振興】 (1) 産業団地整備に向けた事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 地域未来投資促進法に基づく関係者等の協議実施		
⑤	【企業の経営力向上の取組】 (1) 上田市商工会と連携した産業支援 (2) 販路拡大を目的とした展示会への出展支援 (3) 丸子地域の工業振興に向けた取組	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) げんきまるこ産業フェスタ運営ほか支援 (2) 展示会出展支援3社 (3) 工業三団体の事業支援		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和7年度　**重点目標管理シート**

重点目標	人と環境に優しい地域づくりの推進	部局名	丸子地域自治センター	優先順位	４位

総合計画における位置付け	第２編　安全・安心な快適環境のまちづくり 〃 第１編　市民が主役のまちづくり 第４編　ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり 第１章　豊かな環境を未来につなぐ 第２章　良好、快適な生活環境の形成 第３章　地方分権にふさわしい行財政経営 第１章　自分らしい豊かな人生を送る健康づくり 第２節　循環型社会形成の推進 第６節　犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 第１節　行財政改革の推進と住民サービスの充実 第１節　健康都市を目指した健康づくり事業の推進	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	日本を代表する循環型社会をつくる DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる 福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1)将来を見据えた新たな行政サービスへの改革		
現況・課題	○環境負荷を低減する循環型社会形成のために、家庭や事業所における取組として、修理や再利用によるごみの発生抑制を優先したライフスタイルへの転換、プラスチックごみ等の適正な分別による再資源化の推進などが求められている。 ○特殊詐欺被害件数、被害額が急増している。高齢者以外の被害者も増加しており社会問題となっている。 ○築27年を迎えた丸子福祉センターは設備の不具合や施設の老朽化も目立つようになり、設備が度々停止し利用者に不便をかけている。 ○国は令和4年度末にはほとんど全ての住民がマイナンバーカードを取得することを目標としていたが、上田市における令和6年度末保有率は約76%である。		
目的・効果	○「第二次上田市総合計画（後期まちづくり計画）第２編 自然・生活環境・安全安心な快適環境のまちづくり」に掲げる施策等を推進し、環境負荷を抑え、持続的な発展が可能な循環型社会の形成を具現化することをめざす。 ○巡回パトロールや広報、機器の購入補助などを行うことで特殊詐欺等の犯罪を防止し、犯罪被害者の減少をめざす。 ○地域の福祉、ボランティア活動及び保健医療サービスの拠点である福祉センターの快適性・安全性の向上及び長寿命化を図る。 ○マイナンバーカードの普及により、コンビニエンスストアでの証明書交付等の利便性の高い行政サービスを享受できる市民が増える。	該当するSDGsの目標	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	【可燃ごみ減量化に向けた取組】 (1)生ごみ減量化施策の啓発 ・生ごみ減量化機器の普及促進 ・ぱっくんやEM菌など生ごみ堆肥化事業の普及促進 (2)古布類の再利用促進	(1)4月～3月 (2)11月	(1) ・ごみ減量化機器補助件数40件 ・支給（ぱっくん）件数120件 普及イベントの共同開催年6回 (2)古布回収量　1,000kg		
②	【防犯・防災意識の高揚と被害防止の推進】 (1)青色灯パトロールによる防犯パトロールの実施 (2)防犯・交通安全の啓発	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1)パトロール実施　年40回 (2)消費生活展出展等広報活動		
③	【丸子福祉センター整備】 (1)設備等改修工事 ア 空調改修工事 イ 外壁改修工事 ウ LED化改修工事	(1)4月～3月	(1)設備等改修工事の完了		
④	【マイナンバーカードの普及促進】 (1)マイナンバーカード保有枚数率の向上	(1)4月～3月	(1)　本庁及び各自治センターと連携した普及促進 保有枚数率：80%		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	